



タウンサポーター

下都賀地区ふれあい学習研修会

11月10日(金)に、「下都賀地区ふれあい学習研修会」を開催しました。この研修は、社会教育主事講習事後研修(ステップアップ研修Ⅰ)及び下都賀地区生涯学習研修会を兼ねた開催としています。

研修の前半は、栃木県教育委員会事務局生涯学習課課長補佐 井上 昌幸 氏より「ふれあい学習における社会教育主事有資格者の役割」の演題で講話をいただきました。後半は、講話を受け、「地域とともにある学校づくり」をテーマに、地域資源(ヒト・モノ・コト)をどのように活かせるかを考える演習を行いました。

参加者からは、「地域と学校とのつながりを考えることができました。このようなテーマで、近隣校の職員同士が語れる場をつくる必要性を感じました。」といった評価を得ることができました。本研修を契機に、各校でのふれあい学習の一層の充実を図っていただければ幸いです。



講話「ふれあい学習における社会教育主事有資格者の役割」



「地域とともにある学校づくり」をテーマとした演習

とちぎ未来大使「夢」講座

とちぎ未来大使「夢」講座は、広く活躍する「とちぎ未来大使」を講師として、中学生に「夢」を持たせたり、「夢」について考えたりする機会の提供を目的とした事業です。栃木県教育委員会が主催し、今年度は県内各教育事務所管内で希望校3校を上限として開催しました。

下都賀地区で講師を務めてくださったのは、「(株)豊田自動織機 常務役員 熊倉 和生 氏」、「シンガーソングライター サトウ ヒロコ 氏」、「国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)理学博士 吉川 真 氏」です。各講師の母校の中学校において、講師の中学生時代の経験や目標達成までの過程、現在の職業における取組、夢や希望を持つための後輩へのメッセージなどを、熱心に伝えてくださいました。



企業理念や企業活動をおととして(豊田自動織機 熊倉 和生 氏)



伝える想い伝えたい想いをとおして(シンガーソングライター サトウ ヒロコ氏)



小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦をおととして(JAXA 吉川 真 氏)

地域をつなぐ

野木町

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、野木町にも外国人観光客の来訪が見込まれます。

その際に野木町煉瓦窯の魅力を伝え、おもてなしをするために、「英会話による野木町煉瓦窯ガイド養成講座」を開講しました。ここでは、煉瓦窯を愛する会の方や町公民館のALTを講師に迎え、計4回の講座を行いました。



がんばったガイド練習

旧煉瓦製造工場のガイドということで、専門用語がとても多いという難点がありましたが、みなさん、熱心に勉強され、最終回には各自アドリブを加えながらガイドができるほど上達していました。



外国人の方々へのガイド

受講された方々の中には、今後も継続して学んでいきたいとおっしゃる方もいて、とても有意義な講座となりました。2020年には「Welcome to NOGI!!」そんな言葉が町中に溢れていることを期待しています。

Welcome to NOGI

ふれあい学習

小山市

小山市では、平成29年度の小学校及び義務教育学校全25校の就学時健診等の機会に親学習プログラムを活用した講座を開催しました。

親学習プログラムとは、親の役割について自ら考えること、親同士のつながりを持つことを目的とした参加型のプログラムです。例えば、「ほめられるってどんな気持ち?二つのささやき」というプログラムでは、実際に親同士でほめる言葉、しかる言葉を言い合う活動を行ったり、感想や悩みについて話し合ったりします。



親学習プログラムを活用した講座

講師は栃木県が主催する親学習プログラム指導者研修の修了者で結成された「小山市家庭教育支援チームかざぐるま」のメンバーが務め、参加者からは楽しく学べたと評判も上々でした。

小山市では就学時健診以外にも、おやま・まちづくり出前講座で受講できます。あなたも、親学習プログラムを受けてみませんか?



「小山市家庭教育支援チームかざぐるま」のみなさんによる進行

栃木市立大平中学校

栃木市立大平中学校では、県内で唯一保健体育科の授業で「弓道」を行っています。女子のみの履修ですが、栃木県弓道連盟や地元地域の方がボランティアで講師をしてくださり、各クラス10時間の指導を行っていただいています。3年目を迎えた本年は、3年生が28mの射場から弓を引くことができ、目を見張る上達ぶりでした。来年も楽しみです。



ボランティア講師の指導による弓道の授業

毎年恒例の読書週間に行われる「読み聞かせ」。朝の会では小学校学区の保護者の方々による読み聞かせを各クラスで行っていただきました。



ボランティアの方の読み聞かせ

特に、「リンゴの会」の方々による読み聞かせでは、3年生は多目的室で「嵐」「耳なし芳一」を、1、2年生は体育館で「坊ちゃん」を読んでいたました。風景が目に見え、感情のこもった読み聞かせに生徒も物語の中に引き込まれ、真剣に聞き入っていました。

地域のボランティアに支えられて

栃木市伝統野菜「宮ねぎ」の復活と普及活動

県立高校等の取組を紹介します! 栃木農業高等学校

本校では、栃木市吹上地区宮町に江戸時代の頃から栽培されていた「宮ねぎ」(別名:達磨ネギ)の種の固定と種子を農家に配布するなどの普及に6年前から取り組んできました。

今年度は、栽培地域にある地元干塚小学校の3年生を対象に「宮ねぎ」の普及活動を行いました。

5月19日に苗の定植、数回の管理作業を経て、11月6日に無事収穫することができました。



「宮ねぎ」の普及活動



「宮ねぎ」の試食

11月10日にはお好み焼きの具材として調理し試食を行いました。子供たちには好評で、地元の伝統野菜「宮ねぎ」を知ってもらい良いきっかけにすることができました。今後も地元の学校やイベント等へ参加し、「宮ねぎ」の普及に努めていきたいと思ひます。

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の再生・充実を目指します。